

2016年7月14日

株式会社 電通

代表取締役社長執行役員 石井 直

(東証第1部 証券コード: 4324)

電通、台湾の有力デジタルマーケティング・エージェンシー 「WIS社」の株式100%取得で合意

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：石井 直、資本金：746億981万円）の海外本社「電通イージス・ネットワーク」は、台湾の有力デジタルマーケティング・エージェンシーである「WIS Performance Media Inc.」（本社：台北市、以下「WIS社」）の株式100%を取得することにつき、同社株主と合意しました。

2005年に設立されたWIS社は、台湾のSEM市場のおよそ6割を占める中小零細事業者の需要に対して、パフォーマンスマーケティング領域のサービスを提供し、急成長してきました。100名の従業員を抱える同社は、台湾でサーチエンジン会社上位2社の広告枠を販売できる権利「公認リセラーステータス」^{※1}を保有しており、さまざまな業種にまたがる約1,500社にデジタルマーケティング・サービスを提供しています。また、WIS社はGoogleのアナリティクス・パートナーにもなっています。

株式取得後、当社はWIS社を当社グループの9つのグローバルネットワーク・ブランド^{※2}の1つであるiProspect（アイプロスペクト）の台湾拠点と合併します。WIS社が加わることで、台湾でナンバーワンの広告会社グループである当社のビジネス基盤がさらに強固なものとなり、パフォーマンスマーケティング領域に強みを持つiProspect台湾のビジネス規模も倍増することになります。

今後、WIS社はブランド呼称を「iProspect WIS」とし、グループ各社との連携を図りながら、台湾のデジタル領域での成長戦略を加速させていきます。

当社グループのメディア・コミュニケーション・エージェンシーであるCarat（カラ）が行っている世界の広告費成長率予測（2016年3月）によると、台湾の2015年のデジタル広告費は、前年比で15.0%増でした。2016年、2017年も2桁成長（それぞれ13.7%増）が続くと予測しています。

なお、本件が当社の2016年12月期の連結業績に与える影響は軽微です。

-
- ※1 広告主とサーチエンジン会社との間を仲介し、広告主の代わりにメディアを購入する台湾特有のビジネス形態。
- ※2 電通の海外事業を統括する「電通イージス・ネットワーク社」（ロンドン）は、9つのグローバルネットワーク・ブランドを中心に世界でビジネスを展開しています。9つのブランドとは、Carat、Dentsu (Dentsu Brand Agencies)、Dentsu media、iProspect、Isobar、mcgarrybowen、MKTG、Posterscope、Vizeumを指します。

【WIS 社の概要】

- 社 名 : WIS Performance Media Inc.
- 本社所在地 : 台湾・台北市
- 設 立 : 2005年8月
- 株主構成 : 株式取得後、電通イージス・ネットワーク 100%
- 収益(Revenue) : 1億1,200万台湾元（約3.6億円）（2015年12月期）
- 代 表 者 : Simon Wu (創業者兼 CEO)
Fay Lo (Vice President)
David Lee (Business Director, Overseas Business Development)
- 従業員数 : 100名
- 事業内容 : デジタルマーケティング全般のサービスを提供

以 上